

引用や引用文献の書き方は原則として、Gibaldi, Joseph, ed. *MLA Handbook for Writers of Research Papers* 7th ed. (New York: Modern Language Association of America, 2009). に準ずる。

## 1. 全体の書式上の注意

- ・原稿で使用するフォントは、日本語ではMS明朝、英語ではCenturyとする。
- ・半角丸括弧を使用した場合には、前に半角スペースを取る。
- ・作品名は、日本語訳を2重括弧(『 』)で表記し、初出時には半角丸括弧で括って原綴りを挿入する。作品名は、原則として、高橋康也ほか編、『研究社シェイクスピア事典』(研究社、2000年)の表記に準ずる。
- ・論文は節に分け、各節に番号と見出しを付けることが望ましい。節番号と見出しは中央揃えではなく、左揃えで書く。
- ・論文や記事の副題を表すダッシュは全角2文字分用い、副題の前後に付ける。

## 2. 数字表記の統一について

(1) 数詞は、原則としてアラビア数字(半角)で表記する。

(例)「第2幕第3場」、「第2話」、「第3部」、「1623年」、「20年間」、「天保12年」、「4月22日」、「17世紀」、「12名の団員」、「100人の騎士」、「14歳」、「双子の兄弟の1人」、「1ページ目」、「第3の劇場」、「第2版」、「6ポンド」、「悲劇6本を上演」、「2代目レノックス公」、「4分の3」、「1行10音節」、「6行を1連とし、全199連1194行からなる物語詩」、「5つの母音」

(2) ただし、次の場合は漢数字を用いる。

### ① 固有名詞(人名、地名)

(例)「ヘンリー五世」、「ルイ十一世」、「『ヘンリー六世』」(例『ヘンリー六世』・第2部)、「港区六本木」、「中央区六本松」

### ② 成句、熟語、あるいは成句・熟語の一部として定着しているもの

(例)「一人娘」、「二人兄弟」、「二本足」、「三人姉妹」、「裕福な一家」、「一人前」、「一人芝居」、「二大劇団」、「四大元素」、「同一人物」、「二人三脚」、「二人羽織」、「三人称」、「第三者」、「三位一体」、「人っ子一人いない」、「一人(独り)暮らし」、「数千行」(例3万数千行に及ぶ大作)、「五十歩百歩」、「百代の過客」、「百聞は一見に如かず」、「五十肩」、「六十路」、「四字熟語」(例四字熟語は、漢字4字で構成される)、「十二夜」(例十二夜とは、12日目の十二日節の晩)、「四つ折本」(例20篇の四つ折本)、「二つ折本」(例第1・二つ折本)、「五月柱」、「二行連句」(例二行連句は、押韻する同数の音節からなる2行)、「第二次世界大戦」、「歌詞の一部」(cf.『ヘンリー四世』の第1部)、「一部始終」、「三部作」(例『ヘンリー六世』三部作)

(3) アラビア数字にすべきか漢数字にすべきかの線引きが難しい事例については、執筆者の判断に委ねる。

### 3. 人名表記について

- (1) 文学作品の登場人物名はカタカナで表記する。原綴りは不要。
- (2) 作家などの人名もカタカナで表記する。原綴りは不要。初出箇所のみフル・ネーム表記する。
- (2) 実在する人名で、引用文献に記載のないものの場合のみ、「リチャード・フッカー (Richard Hooker)」のように半角丸括弧で括って原綴りを初出時にのみ挿入する。

### 4. 引用について

- (1) 4行以上の長い引用の場合には、前後に1行ずつ空行を取る。左インデントは全角3文字分取る。
- (2) 3行以内の短い引用は原則として地の文に挿入する。読みやすさを考えて日本語に直すことが望ましい。原文は必要な箇所のみ挿入すること。
- (3) 引用の後ろには、半角丸括弧で括って、引用文献で出典が確認できるように、(Sanders 147)のように筆者のファミリー・ネームの原綴りとページを表記する。ページを表す p. や pp. は使用しない。半角丸括弧を文末に付けるときには、「(Sanders 147)。」のように、句点の前に付ける。
- (4) 戯曲の引用の幕・場・行は、(2.2.125-26)のように、半角丸括弧で括って半角アラビア数字で表記する。
- (5) 引用符を用いて引用する際には **double quotation marks** を用いる。
- (6) 長い引用の直後にその引用について論じる場合には、字下げして段落を変えない。
- (7) 引用を1行以上省略する場合には、次の例のように、行の長さだけピリオドを打つ。さらに、戯曲の引用の頭書き (speech prefix) は、大文字で書き、最後にピリオドを打つことで示す。

RODERIGO. What, ho! Brabantio, Signior Brabantio, ho!

IAGO. Awake! What, ho, Brabantio! Thieves, thieves, thieves!

.....

Thieves, thieves!

*Enter Brabantio at a window above*

BRABANTIO. What is the reason of this terrible summons?

What is the matter there? (1.1.79-80, 82-83)

## 5. 注

- (1) 注は後注とする。Word の脚注機能は使わずに、注番号を本文中の該当箇所に上付きの半角数字で手入力した上で、本文と引用文献の間に、注番号順に注本文を入力する。
- (2) 注のなかで触れる書誌の情報は「引用文献」に譲り、注では括弧内傍証を用いて簡潔に記載する。以下は一例である。

初期近代イングランドにおける“counsel”と“council”という概念の交換可能性については、ジョン・ガイの論文を参照 (Guy 292-310)。

## 6. 引用文献

- (1) 引用した文献の一覧は MLA の Works Cited の書き方にならって論文の最後に「引用文献」としてまとめる。
- (2) 「引用文献」の書誌情報の書き方は、*MLA Handbook for Writers of Research Papers* 7th ed. に倣うこと。但し、出版された研究書や論文の最後に付ける“Print.”は削除すること。
- (3) 以下は書誌情報の表記の一例である。

### 研究書の場合

Butler, Martin. *Theatre and Crisis 1632-1642*. Cambridge: Cambridge UP, 1984.

Hunter, G. K. *English Drama 1586-1642: The Age of Shakespeare*. Oxford: Clarendon P, 1997.

安西徹雄、『彼方からの声——演劇・祭祀・宇宙』、筑摩書房、2004年。

スティーヴン・オーゲル、『性を装う——シェイクスピア・異性装・ジェンダー』、岩崎宗治・橋本恵訳、名古屋大学出版会、1999年。

### 雑誌論文の場合

Spivack, Charlotte. "Alienation and Illusion: The Play-within-a-Play on the Caroline Stage." *Medieval and Renaissance Drama in England* 4 (1989): 195-210.

中野春夫、「四百年後、『リチャード三世』が面白い」『悲劇喜劇』65巻8号（2012年11月号）、36-37頁。

松田幸子、「王政復古の『宗教戦争』——*The Duke of Guise*における英仏の『パラレル』——」*Shakespeare News*51巻2号（2012年）、26-37頁。

#### 研究機関の紀要論文の場合（発行機関を明記する）

冬木ひろみ、「『物語』と終わりの感覚——『冬物語』一考察」、『演劇研究』（早稲田大学坪内博士記念演劇博物館）第23号（1999年）、25-34頁。

#### 論文集所収の論文の場合

Orgel, Stephen. "What is a Text." *Staging the Renaissance: Reinterpretations of Elizabethan and Jacobean Drama*. Ed. David Scott Kastan and Peter Stallybrass. New York: Routledge, 1991. 83-87.

篠崎実、「イアーゴの呪縛——『オセロー』における反復の詩学と女性抑圧」、日本シェイクスピア協会編、『シェイクスピアと演劇文化』、研究社、2012年、25-42頁。

#### 文学作品の版本の場合

Shakespeare, William. *King Henry VI Part 1*. Ed. Edward Burns. London: Thomson Learning, 2001.

#### 文学作品の版本における編者の解釈に言及する場合

Hattaway, Michael, ed. *The First Part of King Henry VI*. By William Shakespeare. Cambridge: Cambridge UP, 1990.

野崎睦美、「解説」、ウィリアム・シェイクスピア、『尺には尺を』、小田島雄志訳、白水Uブックス（白水社）、1994年、187-200頁。

#### インターネット上に公開された電子テキストの場合（最後に情報の取得日を明記する）

Hill, Thomas. *The Profitable Arte of Gardening*. London, 1608. *Open Library*. Web. 21 June 2013.

#### 1900年以前に出版された文献の場合（出版地と出版年を記載し、STCナンバーやマイクロフィルム番号などは付けない）

Norden, John. *The Survaiors Dialogue*. London, 1607.